

## 第2日目：7月5日（日） 愛媛大学法文学部講義棟

9:00～ 受付開始（法文学部講義棟入り口）

9:30～ 研究発表

### 考古学部会（法文学部講義棟3階 305講義室）

進行：高山剛（愛媛県松野町教育委員会）、高木邦宏（同西予市教育委員会）

9:35-10:00 山手 貴生（広島大学・院生） 西日本における有茎尖頭器の地域性

10:10-10:20 質疑応答

10:20-10:45 矢部 俊一（広島大学・院生） 南四国における打製石斧の基礎的研究

10:45-10:55 質疑応答

<休憩>

11:05-11:30 齋藤 友紀（広島大学・院生） 弥生から古墳時代における水晶製玉類の分布と変遷

11:30-11:40 質疑応答

11:40-12:05 実盛 良彦（広島大学・院生） 斜縁神獸鏡の制作年代とその流通

12:05-12:15 質疑応答

<休憩>

13:15-13:40 宗広 睦子（愛媛大学・院生） 四国における初期須恵器の動態

13:40-13:50 質疑応答

13:50-14:15 三吉 秀充（愛媛大学） 伊予市市場南組窯跡3・4次調査について

14:15-14:25 質疑応答

<休憩>

14:35-15:00 垣見奈緒子（愛媛大学・院生） 西日本における古墳時代鉄刀の基礎的研究 ―四国を中心に―

15:00-15:10 質疑応答

15:10-15:35 柴田 昌児（財・愛媛県埋蔵文化財調査センター）

芸予諸島の海上交通に関する一試論 ―臨海性集落と土器製塩の動態から―

15:35-15:45 質疑応答

15:45-16:10 宮岡昌宣（広島大学・院生） 吉備の陶棺

16:10-16:20 質疑応答



愛媛大学総合情報メディアセンター（公開講演・総会：メディアホール、評議会：会議室）

